

**学年目標** 『**自他共に尊重し、逞しい心をもって、自ら考え、行動する集団に**』

～ チーム 36 期 ～

高校での生活も早や一年、4月には新入生を迎え、皆さんは上級生となります。ここまでの生活は納得のゆく、充実したものにできていますか。先月には“高校二年生0学期集会”を開き、今後の大学受験を見据えた受験勉強を既にスタートさせているはず。先日配布した手帳を活用し、進級を前に心機一転、生活を見直し、目標への道程を意識しましょう。集会の場でお話した、目標達成のための基礎・土台となるもののうち、最も大事なものは何であったか覚えていますか。それは“情熱”と“勤勉”です。自らの可能性を信じ、かつ、日々到達するための努力を怠らないこと。まずは四月の授業開始までに苦手科目・分野にみっちりとり組み、力を伸ばしておくことが肝要です。

さて、LHR・総合学習の時間では、先日、百人一首大会を行いました。また、この夏の完成に向けて自分史の作成にも取り組んでいるところです。自分史作りは自らをみつめ、他への感謝を思い起こさせる大切な作業です。また、オーストラリア研修での班別の文化交流の準備や、まもなく合唱祭も控えており、他と協働しての取り組みも多くあります。大学入学後、更には社会に出てから自らを活かせるように、学校という集団の中で自らを磨いて貰いたいと思います。こここのところ、全国 Web コンテストや数学オリンピックなど、様々な場で一年生の輝かしい活躍が見られます。先日の学年集会では、イブニングレッスン精勤者や、ターキー（毎週の小テスト）での年間全回合格者などの表彰も行いました。今後も、学業のみならず学校生活の様々な場でのチーム 36 期の皆さんの活躍を期待しています。

宝田

1年を振り返って～そしてこれからの指針



期待と緊張を胸に入学した時から1年が経過しようとしています。中学からの6ヶ年で考えるとHOP・STEPの助走一踏み込み・力の蓄積を経て、いよいよ大きくJUMPへと踏み切るタイミングの時期になりました。この1年間を振り返るとともに、今一度2年後を見据えて各自の目標を達成すべく、準備を進めましょう。

15日の卒業生（34期生）による進路講演会では大変貴重な話を聞くことができました。文系、理系に分かれての講演会でしたが、1年次で心がけること、受験へのモチベーションの保ち方、教科ごとの勉強方法など、芝柏生ならではの興味深い内容だったのではないのでしょうか。先輩達も悩み苦しんだ時期がありました。裏を返せば、夢や理想を持っているからこそ、それらと現実との距離を目の当たりにして、悩んだりストレスを感じたりするのだと思います。そもそも、夢や理想を持っていない者は、自分の置かれている状況を把握できず、進むべき道を探すこともできません。ただ無為に時間が過ぎていくのです。



後期期末試験結果と年度末の評価を手にして、思うことは何ですか？1年間を振り返って考えてみましょう。中学校のころの成績との違いや、範囲の広さ、取り組まなければいけないことの多さに戸惑った人が多かったかもしれません。「これが高校の学習です」と言いたいところですが、実は恐ろしいことに2年生、3年生と学年が進むにつれ範囲やレベルが加速度的にあがり、受験時に振り返ると1年生のころの問題がとても簡単に見えるものなのです。また、皆さんが行きたいと思っているような大学では、また難易度や要求されることが変わり、しかも得点を重ねることが求められます。もう一度、「夢実現のための十則」を見てみましょう。

夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰り返し、失敗を繰り返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。



一番重要なことは、「目標を決め、絶対に達成すると思う」ことです。もちろん、今、決めたら変えてはいけないということではありません。国立か私立か悩んでいるとするなら、両方可能性がある以上、両方目標を決めればよいだけのことで、学部を変更しても、対策の変更を少々すれればいいだけの話で、骨格が崩れるわけではありません。次の授業開始は4月14日です。意識がないと、1ヶ月ものりくらしと過ごすこととなります。まず目標をしっかり持ち、行動に移して下さい。

チャレンジセンター、進研模試、Gテック、駿台記述模試、駿台マーク模試、スタディサポートと、1月以降、たくさん模試を受験しました。国語や英語では、「初めて読む問題を一定時間で解き終える」という入試の特性に、数学では「難しい問題を考え部分点を積み重ねる」という入試の特性に触れることができたのではないのでしょうか。

駿台記述模試はハイレベルな出題でした。しかし、その傾向が多くの生徒が志望する大学の傾向なので、良い経験になったと思います。たとえ現在、志望校の合格判定が「E」だとしても、諦めず実力をつけるまでやり続けることが重要なのです。判定の算出方法は、模試によって特徴がありますので、その意味合いも変わってきます。受験に「必ず」はありません。もちろん「A」が出たからと言って油断することはいけません（「御守りがひとつ増えた！」と思きましょう）。また、「E」が出たからと言って受験の道が閉ざされた訳でもありません。しかし何もしないでそのままいけば合格は絶対にありません。夢と目標を常に持ち、そこに向かって計画を立て、残り時間（あと1年8カ月）の中で実行していくことで志望校の合格を得ることができるのです。では、教科ごとに見ていきましょう。

英語は英文法、リスニングで健闘したもの、読解問題と英作文で苦戦しました。どちらも短時間で何とかかなるような分野ではありません。文系、理系に関わらず、英語は重要な教科です。基本文法、構文の確認、単語、熟語の詰め、超長文の読解問題演習、英作文、自由英作文対策など、英語の勉強はやるが多岐にわたります。しかもすべてを同時にこなさなければなりません。まずは文法、まずは単語、など区切ってはいつまでたっても長文は読めませんし、英作文はできません。例えば英作文や長文読解が苦手なら中学の英作文や長文読解の問題集を購入したりして、すべてを同時にこなしてください。まず英語でアドバンテージをとることが重要です。春休みは自分の苦手分

野の対策を中心に全分野の学習をすすめてください。

数学は二次方程式が弱点となりました。数学も解法のパターン暗記レベルまではこなしたとしても、じっくりと問題演習を積み重ねている人が少ないということなのでしょう。「問題演習不足」という課題が見えています。基本・応用ともに演習量を増やしましょう。十則にも「書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。」とあります。とにかく手を動かして実際に問題を解きましょう。手を動かした分だけ問題は解けるようになります。春休みは時間をかけて問題に取り組めるチャンスです。

国語は相変わらず古文と漢文で苦戦しています。全体的にも基本的な事項の学習ができていないことに加え、国語の記述力、すなわち要約の訓練や、問題演習が圧倒的に不足していることが予想されます。実際、問題集を家庭学習に入れている生徒はとてもの少ないように感じます。以下、学年通信進路版第10号で書いたことを再掲します。

【小学校の国語の問題集を開いてみよう。簡単だと感じるに違いない。けれども当時は今ほど簡単だと思ったことはないはずだ。苦手な人は難しいと思っていただろう。なぜ今小学校の国語の問題を簡単と感じるのだろうか。それは文章が大学受験レベルの文章に比べ簡単だからだ。君たちは中学校で3年間、中学生レベルの文章に触れてきているし模試の度に高校生レベルの文章にも触れている。高校での授業もすでに半年が経過した。これだけ触れていれば小学生レベルの文章が簡単だと感じるのは当然ではないか。国語が苦手で小学校卒業以来、国語の授業をまじめに受けてきていなかったとしても、である。まずは大学受験レベルの文章に慣れること（つまり模試・授業・問題集・本などで難しい文章に触れる）、これが現代文をできるようにする一歩だ。】

受験の期日は決まっていますが、スタートは自分で決められます。新しい季節と出会いに胸をふくらませながら、ぜひ大きな一歩を踏み出して下さい！



各教科から ～期末試験の講評・今後の学習と課題～

【国語】

古文・漢文の底上げと実力アップが急務。古文も漢文も、春休みは「読解問題」（＝まず読む！そして「つまりこういうことだよ」とまとめられる、要点を言える）を中心に取り組む。その中で、読解が難しかった部分や解けなかった問題について、単語・文法・古文常識などでつまずいていないか、おざなりな解釈になっていないか、をチェックし、その項目の復習や暗記をする。読んで、大まかなイメージを掴めることを優先させること。理系もあとで時間を取らないための正念場。文系はこのあとのベースを確立する正念場。とにかく時間を作って勉強する。

現代文も読んで、大まかな内容を把握できることを第一にして、そのあと部分の確認をする。問題集をやる場合は、選択式ではなく記述型のものに取り組む。漢字・語彙のドリル問題集をこっそり始めておく。

現代文・古文・漢文という垣根をもたない。文系・理系という境界線を越える。知識や考え方は共通するものが多い。クロスオーバーしていく勉強を志向してほしい。

【社会】

現代社会、世界史ともに文章は応用的でしたが、問われた語句は基本的なものが多く、日々の学習を大切にしていた人は高得点を得られたと思います。4択や資料問題などにおける正誤判断をしっかりとできるよう、ただ丸暗記ではなく、語句やテーマについて、文章化し簡潔に説明するなど、内容をしっかりと理解できるような学習に努めてください。

4月の実力試験では、世界史（文系）、現代社会（文理共に）を実施します。1年間で学んだすべての内容が範囲となります。1年間のノートやプリントを見直して総復習を行う、教科書を用いて全体の流れを理解する、これまでの定期試験の解き直しをする、といった学習に取り組んでください。試験を受けたときに正しく答えられなかったり思い出せなかったりした事項が、テストの後に正しく理解しより深い理科となることが本来の姿です。テストで出題されたことは重要な事項であるという意味もあり、そうした重要事項の記憶と理解をこの時点で再確認することが、二年後の大学入試に向けた基本的な学習となります。その姿勢が問われています。

【数学】

コースやクラスに応じて、進度もレベルも異なる1年間でした。テストの概況としては、どの科目でも定着度合いが不十分であること、計算速度が遅いことが課題となっているように見られます。

来年度は2種類ある数学の科目のうち、一方を習熟度別にして授業を行います（文理混合クラスを除く）。ですが、**IAⅡBの全範囲**については、**文系・理系の皆がしっかり取り組むのだ**ということを念頭に置いてください。春休みの課題は「**短期攻略センター数Ⅱ・B基礎編（駿台文庫）**」の中から10のテーマを自分で選び、専用のノートに演習をします。表紙の裏側に所定用紙を張り学習計画と学習日を記入し、**4月の数Ⅱの初回授業**で授業担当者に提出です。また、受験サプリは自分でレベル・内容を選び受講すること。こちらについては提出とはしません。センター対策講座がおすすめです。（課題の詳細はプリントを参照）

【物理】 高1で物理基礎の力学範囲すべて、物理の円運動の一部まで学習しました。力学の残すところは円運動の一部・単振動・惑星の運動です。入試では必ず力学が1題出題されます。特に力学範囲は多岐にわたって1つの問題に集約される傾向が強いです。しかも力学は現役浪人間問わず得点率が高くなります。つまり、1年生の範囲をおろそかにしておく入試でブレーキがかかることとなります。高2は前期中間以降、熱分野に入りますのでここで復習しておかなければ今後時間が足りなくなることは明白です。セミナー物理の発展問題程度は普通に解けるようにしておいてください。難関大を目指しているならば、総合問題にも取り組んでおきましょう。また、参考書を持っていない人は必ず準備してください。特に物理をもう一度基礎からやり直したい場合は教科書では説明が不十分ですから、参考書がとても役に立ちます。物理教室（河合出版）がお勧めですが、チャート式など自分に合ったもので構いません。実力試験は次年度物理選択者のみ、高1既習範囲で実施します。

【化学】 高1で学習した範囲は、今後の化学の学習の土台となる重要な部分です。文系に進む人には、センター化学基礎の3/4程の内容を学習しました。次年度、文系で化学基礎を履修する人と理系全員が、4月当初の実力考査で化学を受験します。範囲は一年間の履修範囲すべて（酸・塩基まで）です。文系理系とも、次年度には新しい問題集を用いての授業になりますので、一年次の既習範囲について、リードLight ノート問題集がほぼ解ける程度の力はつけておきましょう。4月に提出の指定課題はありません。総復習をして、実力考査の対策としてください。

【英語】

英語表現 GL・GS 共通問題および選択問題、期末試験の講評。

共通問題はテキストの指定された範囲からほぼそのままの形で出題された。授業でカバーした範囲だけでなく、それ以外の部分まで自学で丹念に取り組んだものが高得点を挙げることができた。やはり普段から真面目にコツコツと取り組むことが必要。選択問題GLは教科書の例文の構造を理解したうえで、音読を繰り返し、その後ノートに書き出す練習が効果的。GSの東大型の英作文については、①与えられた状況から想像力を働かせて与えられた語数で書く訓練 ②対立する命題に対して自分の立場を明らかにして論理的に述べていく練習を重ねて欲しい。

春季課題は1. 洋書課題 2. CROWN PLUS Lesson3 プリント作成 3. GRASP テキスト 4. 速読英単語復習 5. CROWN PLUS Lesson4 以降の復習 詳細は3月11日配付の別紙のとおり。多読・音読を心掛けたい。映画・音楽・テレビ・ラジオ・雑誌等、日頃から英語に接する機会を増やしたい。

【総合（自分史）】

2016年夏の完成を目指して、取り組みます。学年集会で説明した通りですので、春休みを利用して、資料を整理したり、文章をまとめたりしましょう。2月の中間提出で書いた分もきちんと保管しておいて下さい。

<執筆10枚以上> 最終的に30枚以上書いて提出しますので、入力形式を揃えておくとう便利です。原稿用紙、パソコン入力（1枚で400字以上）等、自分の書きやすい方法で結構です。4/8提出。

オーストラリア研修に向けて

いよいよオーストラリア研修まで2か月余りとなりました。文化交流のグループも決まり、具体的な活動に入っています。各担当の準備を春休み中に進めて下さい。持ち物や服装の詳しい説明は、4月16日の保護者会にて行う予定です。



今後の予定

- 4月 7日（木） 入学式（新2年生は自宅学習）
- 8日（金） 始業式 心電図検診（運動部員）
- 9日（土） 中1・中2・高1 保護者会（授業なし）
- 11日（月）～13日（水） 身体計測検診・ガイダンス・実力テスト・スポーツテスト
- 14日（木） 授業開始
- 16日（土） 中3・高2・3 保護者会（授業あり）
- 18日（月）～23日（土） 面談週間（40分授業）
- 25日（月） 内科検診
- 27日（水）・28日（木） 球技大会



*新2年生の教科書販売期間は3/24～3/31、10:00～18:00です。

選択科目に合わせて必要な教材を西口アサノ（柏駅西口）で購入して下さい。詳細は別紙参照。

4月8日（金）「始業式」について

- 始業時間：8時45分（各教室に着席）
- 当日の流れ
 - ① 昇降口付近に掲示した名簿で、自分の新クラス・番号を確認する。
 - ② 自分の靴（2足）をビニール袋などにいれて教室に持参する（下足箱を空にする）。
 - ③ 自分の教室に移動する。
 - ④ 教室の座席表で自分の座席を確認して、指定の座席に座る。
 - ⑤ 静かに朝自習を始める。

※当日はクラスや座席を確認する作業がありますので、時間に余裕を持って登校しましょう。
（下校時に新しい下足箱を指定します。）
- 持参するもの
 1. 成績通知票ファイル（成績通知票に捺印を忘れずに）
 2. 8日提出の課題
 3. 保護者アンケート（封筒に入れる）
 4. 保護者会出欠票
 5. 靴を入れる袋（ビニール袋など）
- 服装：正装（ブレザー、ネクタイ） ※当日はクラス集合写真の撮影をします。
- 欠席・遅刻の連絡
学年の直通電話は 04-7174-4097で今までと変わりません。
2年生から始業時間が変わるため、今後は8時10分から30分の間に連絡をお願いします。

